レッスンSPA37

テーマ：最後のいくつかのレッスンのまとめ

SPA37/KE7/12/13/05/0J

私の姉妹・兄弟達、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性によって包まれています。

これは最近カバーしたいくつかのレッスンのまとめと復習です。エーテルの特質をマスターするためのエクササイズの重要性について述べましたが、さらに四つのエレメントをマスターすることの重要性をも話しました。

なぜ四つのエレメントをマスターする必要があるのでしょうか、その理由とは？地はマインドのもっとも低いバイブレーションであると述べましたが、地が存在し、形を帯びるためには他の三つのエレメントが必要です。また同時に電気、磁気、エーテルという生の海の三つの質についても話しました。肉体は地からできており、それは肉体の主要なエレメントです。また肉体を他の二つの体とつなげることによって肉体を活性化しますが、肉体には属さないエレメントもあります。

子宮のなかの赤ん坊はなぜ水のエレメントに囲まれているのか考えたことがありますか？このエレメントが赤ん坊の肉体を包むのを止めた瞬間に、現在のパーソナリティーとしての体を活性化する生のスパークが肉体とつながります。勿論、それが起きるとき、それは呼吸の始まりです。それまでは、そのパーソナリティーはサイコノエティカル体のなかにのみ存在していたのです。

ですから、水のエレメントは現在のパーソナリティーにとってはとても大事です。なぜなら現在のパーソナリティーとは思考・行動の仕方以外の何ものでもないからであり、それはサイコノエティカル体だからです。ですから、現れとしての現在のパーソナリティーである私たちは肉体ではありません。私たちは物質界にいる間それを使用しているだけです。残念なことに大部分の人はこの肉体が唯一の体であると考え、それが自分自身であると見なしています。しかし、実際にはそうではありません。

サイコノエティカル体を構成するエレメントとは何でしょうか？それは水、火、エーテルの各エレメントです。どのエーテルでしょうか？そのエーテルとは生の海における質として述べたエーテルと結びついているエレメントとしてのエーテルでしょうか？違います。エレメントとしてのそのエーテルはマインドのあるバイブレーションであり、マインドのバイブレーションとしてのそのエーテルが存在し、実在し、形を帯びるためには生の海の他の三つの質が必要です。

ですから、肉体のために四つのエレメントがあり、過去に述べたより高いエレメントの三つの質は実際にはエレメントではありません；全部で七つあります。サイコノエティカル体のためには六つあります。

真理の探究者は自分の部屋のなかで、つまり四面ピラミッドの下にある墓のなかでワークする必要があると述べました。誰がその部屋をよく知っているでしょうか？誰も知りません。その部屋をよく知るということは、現在のパーソナリティーが自分の現れのレベル、言い換えれば気づきのレベルを認識するということです。真理の探究者がまずやるべき努力とは、あなたの現れのレベルを認識するポイントに到達することです。そのためには部屋/墓としてのあなた自身の同一体を創造することです。その部屋を視覚化する時、それは創造となります。あなたがそうとは気づかずに立っているところと同一です。さらにまた、その部屋のなかであなたは多くのエクササイズをします；それら全てのエクササイズにはただ一つの目的があり…それはあなたの気づきのレベルを認識することです。

探究者としての私たちは自分の現れを認識するレベルに到達することによって、その部屋を出る準備ができるのでしょうか？もう少し後になって答えがわかることでしょう。

Page2

様々なエレメントを支配しているそれらのアークエンジェル達と親しくなるためにワークをすると述べました；ミカエル、ガブリエル、ラファエル、ウリエルです。同時に勿論、あなたの守護大天使、およびあなたの現在のパーソナリティー、あなた自身に付き添っているサミュエルとも親しくなります。

なぜでしょうか？なぜなら、あなたはそれらのアークエンジェルのオーダーがあなたのためにしていることを認識する必要があるからです。なぜなら、彼らはそれを通じてあなたが自分自身を現わしている手段、つまり現在のパーソナリティーの諸体を築いたからです。

それらの諸体を築いたのは彼らであり、その身体を維持しているのも彼らです。あなたではありません。彼らが全ての仕事を行っています。もしあなたが気づきの上昇に向けてワークをしたいと願うなら、彼らの仕事、特にあなたのサイコノエティカル体に関して彼らが行っている仕事を知り始める必要があります；なぜなら、あなたの現れのレベルを決めるのはサイコノエティカル体あるいはサイコノエティカル体のステートだからです。それはどういう意味でしょうか？つまりサイコノエティカル体の形のステートという意味です。しかし、それら二つの体の形の再形成に向けてワークするためには、それらがどのように築かれ、どのように維持されているかを知る必要があります。

肉体についてはどうでしょうか？前のレッスンで私たちは肉体を扱わないと述べましたが、それがどのように築かれ、どのように維持されるかを理解する必要があります。さらにまた、地のエレメントがどのように形を帯び、どのオーダーが支配しているかを理解する必要があります。それは将来、そのエレメントのなかで何であれ人間が創造したものと対面することができるようになるためです。言い換えれば、そのエレメントのなかでの人間の創造物です。なぜなら、無知の結果として人間が築いたものは、そのエレメントのなかにあるからです。私たちはそのエレメントにフォーカスし、そのエレメントのなかで自分自身のエレメンタルを具現化します。

ですから、その部屋のなかで私たちが何を行おうともそこには唯一の目的があります。つまり、部屋を後にして部屋から出ることができる、という目的です。私たちが行うワークの後、部屋を去る準備ができるようになるでしょうか？答えはイエスです。同一体だけを後にするのでしょうか？違います、私たちは自分の思考・行動の仕方を変えるのです。

言い換えれば、それらの全てのワークを行うことによって気づきのレベルを高めるのです。そして大きな四面ピラミッドの同一体として、部屋のなかで私たちが創造する四面ピラミッドの上に立つ時、その部屋のドアーを開く準備ができたことを意味します。同一体としての部屋ではなくて本当の部屋です。そして地のエレメントのなかを旅した後に、四面ピラミッド、本当の四面ピラミッドのなかに立っている自分自身を見いだすのです。そしてその四面ピラミッドのなかに来たとき、私たちはそれまで同一体としての小さな四面ピラミッドのなかで行ってきたことを、その大きなピラミッドのなかで行うのです。

さて、四面ピラミッドの上に立つということは何を意味するのでしょうか？過去のレッスンで述べた四面ピラミッドが完全なものとなるためには頂部が必要ですが、そこにはありません。それが完全な姿になるためには人間がピラミッドの上に立つ必要があります。しかし、もし私たちが何かの上に立つとすれば、それは部屋のなかだけです。もし上に立つなら、部屋の外で立つ必要があります。それはつまり、私たちが部屋の外にいるということです。

人が自分自身を部屋の外に見いだすポジションに至るということは、その人が意識的意識のセルフ・エピグノシスを現わし始めるということです。その人は意識的に生きるようになり、その時初めて人は経験的知識を得るようになるのです。それ以前ではなく、その時から初めてそれが始まります。それまでは、何であれ私たちが経験的知識と見なすものは実際にはイリュージョン、幻想であり、それは潜在意識のなかに飛び込んで経験したものに過ぎません。

ですから、私たちが創造する同一体としての部屋のなかでワークを行い、転生のサイクルに入った瞬間から現在のパーソナリティーに付き添っている四つのアークエンジェルたちと知り合いになるようにします。彼らを通じて私たちはそれぞれのオーダーと知り合いになるのです。ですから部屋のなかでは大いにワークをする必要があります。私たちは四つのエレメントをマスターするのではなくて、それらのエレメントと親しむのです。私たちはそれらアークエンジェルのオーダーが何を行っているのか、現在のパーソナリティーに何を提供しているのかを出来る限り認識し始めるのです。

Page3

さて、素質的可能性のサイクルのなかにはないセルフを表現しようとするのでしょうか？違います。同一体のなかで、私たちはある程度まで、つまり現れのレベルまで現わすことができます。墓のなかで表現される現れのレベルは素質的可能性のサイクルによって定義づけられます。それは実際あらゆる人間に当てはまります。しかし全ての人間がそこで同じものを現わすわけではありません。このことを認識する必要があります。それぞれの人は独自の個人性というものを保っています。なぜなら、各人がその人自身の個別の経験の結果としてそのポイントに到達しているからです。

そして、前に述べたように四つのエレメントがありますが、探究者にとって大切なことは三つのエレメントについてのみワークすることです。四つの目のエレメントは物質界だけのものだからです。他の三つのエレメントは実存の他の諸世界にも放射されています。そうです。エレメントというのは実存の諸世界だけのものです；存在の諸世界においては、現れとしてのセルフを表現する上で生は何ものをも必要としないからです。

生の諸世界において、エレメントはイデアとしてあります。そして説明したように、エレメントとはマインドの様々なバイブレーションです。これはつまり、存在の諸世界における生はマインドさえも必要としません。マインドが存在し、実存するために必要なものは、全てを活性化する生の海からの生のスパークです。そしてそのスパークが三つの質としてマインドに提供されます。それらの質を高次のエレメントと呼ぶ人もいます。しかし実際にはそれらはエレメントではなく生の質です。そしてそれらの質は動き、振動、バイブレーションの原因であり、それらの質なくしてはマインドが特別な形、特定のフォームと大きさを帯びることはないでしょう。存在、実存するあらゆるものの中にはそれら三つの質がなければならず、さもなければなにも存在せず、実存しないことになります。

言い換えれば、それらの質は生それ自身の一部です。肉体を生かし、心臓の鼓動をあらしめているのはそれら三つの質なのです。肉体のなかで生じている動きはそれら生の三つの質の結果です。そうです、それらの質の結果として物質界において多くの現象が表現され、創造されています。水のエレメント、火のエレメント、空気/エーテルのエレメントという三つのエレメントの重要性について説明し、分析してきました。水のエレメントはサイコノエティカル体を肉体につなげ、常にエーテルと共に、肉体を生が表現される手段とするのは水のエレメントなのです。そして今、生というとき、それは実際には生の影です。なぜなら、ここでは生は思考・行動の仕方として表現されるからです。生が制限ある現れのなかで表現されています；言い換えれば、意識が制限、限界のなかにあるということです。

肉体は現在のパーソナリティーではありません；それはこれらの現れのバイブレーション、つまり物質界において現在のパーソナリティーが現れるための手段に過ぎません。そして私たちが肉体を去る時、それが現在のパーソナリティーの終わりということではありません。現在のパーソナリティーは他の二つの体を使って存在し続けます。なぜなら、実際、現在のパーソナリティーとはそれら二つの体だからです。そして他の世界、つまりサイコノエティカル界に存在、実存し続けます。そして、永遠のパーソナリティー、あるいは魂のセルフ・エピグノシスとしてのインナーセルフが、その特定の現在のパーソナリティーが何かを体験することが必要であると見なし、永遠のアトム、サイコノエティカルな永遠のアトムが永遠のパーソナリティーに戻り、新たな現在のパーソナリティーが誕生し肉体が作られるまでは、そこに存在し続けます。

誕生といいますが、誰が出産、産むのでしょうか？前に述べましたが、母親が出産するとき実際に出産するのは背後にいる聖母(Holy Mother)なのです。さらにまた肉体の主要なエレメントは水のエレメントのように見えますが、実際には違います。肉体は地のエレメントから出来ており、水のエレメントが去ってしまうと、この地のエレメントは地に戻ります。水のエレメントは実際には肉体に属していません；二つのステートをつないでいるのは水のエレメントです。一つのステートは肉体、もう一つのステートはサイコノエティカル体、つまり現在のパーソナリティーです。

ですから私たちはそれらのエレメントに関してワークをする必要があります。このワークをマスターするのは簡単ではなく、多くのワーク、さらには多くの転生すら必要になります。なぜなら、それらのエレメントをマスターするということは、そのパーソナリティーが自己実現に到達するということだからです。現在のパーソナリティーは多くの段階を通過し、いわゆる意識のセルフ・エピグノシスの多くの現れのレベルを通過する必要があります。この様々なレベルについては既に話しましたね。しかし同時に探究者のワークはエーテルの特質のマスターにも向けられる必要があります。それらの特質について今晩話す必要はありません。それに関しては過去にたくさん述べてきました。無知のなかにある間は現在のパーソナリティーは死んでいると見なされます。その人は（＊神の）似姿を現わしていません。その人が表現しているのはその人の真のセルフのアイコンにすぎません。私たちはこのアイコンを壊して、似姿を現わすようにする必要があります。

エクササイズ　SPA NO37/NO.1

静かに座り、心を騒がせているもの全てを解き放ちます…真っ白な自分自身をイメージして、自分の形の境界を感じます…さらに、真っ白な五芒星のなかで守られている自分自身を見ます…

あなたは今、プランテーション（＊熱帯の植物園）の中に立っています…野外のプランテーションのなかにいて、そのプランテーションの植物は皆あなたの身体と同じ高さです…つまり、自分が様々な植物に囲まれているのが見え、それらの植物は熱帯の国々で目にする植物であり、それらは高い木ではありません…それらの植物の色は緑一色ではなく様々な色が混じっていますが、主な色は緑です…それらはトウモロコシの木に似ており、同じような感じの植物がたくさん育っています…今あなたは水のエレメントに包まれているのを感じます、それはまるでひんやりとした霧に包まれているかのようです…あなたにはその霧が見えません、それは霧とは少し感じが違って何かとても気持ちの良い感じがします…そのひんやりとした静けさに包まれているのを感じます…何か生き生きしているような感じです…実際それがあなたの周囲にあるもの全てを生かしています…それがなければそのプランテーションも存在しないでしょう。

あなたは今自分が立っているその場所がどこにあるのかを知りたいと思います…周囲を見回したいと思います…そう思ったことによって、あなたは今上に上昇していくのを感じます、もはや地上に立ってはいません…空中に浮いていて、上昇していき、徐々にプランテーションの上が見渡せる高さまできました、遠くの方まであたり一面見渡すことができます、そして今やプランテーションの上に浮います、プランテーションよりも１メートルぐらい上に浮いています…上から見るプランテーションは様々な色のカーペットのようで、とても素敵な光景です…まるでペルシャ絨毯のようです…見渡す限り360度どの方向を向いても同じような景色です…目に見えるものはこのプランテーションだけです、それは巨大なカーペットのようです…今あなたは植物群の上にいます…

あなたは今、別のものに包まれているのを感じます、それは火のエレメントです…それは実際に太陽の光から与えられたものですが、あなたには赤い輝きがあなたを包んでいるのが見えます…もしあなたが太陽光線を分析するなら、今あなたを包んでいるのは火のエレメントからの光線です、しかし同時に別のものにも包まれているのを感じます…それはエーテルのエレメントです…しかし、あなたはその輝き、光を別の輝き、光と区別することはできません、なぜならこの輝きはウルトラ・バイオレットの光であり、それは五感を通じて見ることはできないからです…あなたは徐々にこの輝き、この輝きの色に近づいていきます。

今あなたはガブリエル、ラファエル、ミカエルによって包まれています、しかし、これら三つのアークエンジェルによって包まれているのが理解できるなら、あなたはウリエルにも包まれています…もしあなたがウリエルの純白の輝きに包まれていないなら、他の三つによって包まれているのを認識することができないからです…ですから、あなたは今この美しいプランテーションの上に浮いています、それはまるで生きているカーペットのようです…なぜなら、プランテーションの上部が少し動いて波打っているからです…あなたは生き生きしています…ですから、あなたは今この美しい生きているカーペットの上に浮いています…しかし同時にあなたは四つの異なった輝きによって包まれています…あなたにはエネルギーが充満し、生き生きとしていて、あなたの周囲にあるもの全てはとっても綺麗です。

あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

あなた、あなたの家庭、あなたの愛する人々、そして世界全体がアガピ、および最愛のお方の祝福と共にありますように。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

質問：もう少し説明していただけるでしょうか？ひとたび個人の部屋あるいは個人のピラミッドから出たら本当のピラミッドに入るということですが、それは同じなのですか？

Ｋ：そうです、小さなピラミッドのなかで行うワークは大きなピラミッドと同じです。この同一体のなかで行うことは、その後に行うことの準備なのです。それは練習なのですが、その練習は有益です。なぜならば、現在のパーソナリティーが自分の現れのレベルを認識するポジションに到達するとき、同時に私たちが述べたタイプの意識、つまり意識的意識のセルフ・エピグノシスを表現することができるようになるからです。私たちは以前のレッスンで述べたあらゆるシンボルのなかで、大きなピラミッドの同一体としての小さな四面ピラミッドのなかでワークをすることになりますが、私たちが大きなピラミッドの中に立つようになると、私たちはそれらのワークを繰り返します。勿論、能力は異なります。そしてそれらの能力の結果、現在のパーソナリティーは経験に基づいて知識を得るようになり、その経験的知識の故に、そこであなた方が経験するものは以前とは違ってくるのです。

質問：私たちがピラミッドの内側に到達するときには、五つの超感覚を使うようになるのでしょうか？

Ｋ：あなたが墓から去るときには、そうです。それはつまり、あなたが自分を現わすとき、ある程度まで五つの超感覚を使います。

さて、サミュエルに関して何が生じるのかを詳しくは説明しませんでした。誰も質問しませんでしたね。他の四つのアークエンジェルについては説明しましたが、サミュエルについてはどうでしょうか？サミュエルはアークエンジェルでしょうか？答えはノーです。以前のレッスンで述べたように、サミュエルはエレメンタルです。そしてオーダーとしてはルシファーのエレメンタルです。しかし説明したように、人間が物質のなかでセルフを表現するために地のエレメントを身にまとう時、その時にはサミュエルも現在のパーソナリティーに付き添います。

それでは私たちが肉体から去るとき、サミュエルはどうなるのでしょうか？私たちが肉体から去るとき、サミェエルのエレメンタルはエネルギーを失い、創造者に戻ります。このエレメンタルを創造したアークエンジェルのオーダーに戻ります。勿論、他の全てのアークエンジェルのオーダーのエレメンタルに関してはそういうことは生じません。それらのエレメンタルは神の黙想に奉仕している天使です。神の黙想のこの活動には始まり、あるいは終わりはありません。それ故に、天使である全てのエレメンタルは永遠的なものである、と前にのべたのです。しかし、ルシファーのエレメンタルであるサミュエルについては違います。

今、サミュエル、あるいは現在のパーソナリティーに付きそうサミュエルについて述べましたが、サミュエルについてはどうでしょうか？地球上には無数のサミェエルがありますが、それらはどうなるのでしょうか？惑星が物質としてのヒポスタシス（＊状態）を取るためには、そのエレメントを司るサミュエルのエレメンタルが必要となりますが、それらに何が生じるのでしょうか？そうです、それらにも始まりと終わりがあります。物質としての惑星には始まりと終わりがあります。それらも物質界だけに限られるので、永続はしません。

肉体的死という現象と共に現在のパーソナリティーが肉体から去ると、このサミェエルはエネルギーを失います。しかし、他のアークエンジェルたちは引き続き現在のパーソナリティーに付き添います。なぜなら、現在のパーソナリティーは肉体ではないからです。肉体は単に現在のパーソナリティーが自分自身を現わすための手段にすぎません。

質問：サミュエルは実際に何をするのですか？

Ｋ：サミェエルは地のエレメントを司ります。それだけです、肉体だけです。しかし、このエレメントが存在し、実存するためには他の三つのエレメント、つまり水のエレメント、エーテルのエレメント、火のエレメントが必要です。そして、それら全てのエレメントは電気、磁気。エーテルという生の海の三つの質を必要とします。分子が一緒に集まるためにはエレクトロンがそれらを一つにまとめる必要があります。何であれ特定の形と大きさを帯びるためには、生の海の三つの質が必要となります。それらは人間が認識していなくても行われています。電気の働きがなければ、二つの原子、あるいは分子をつなげることは不可能です。

EREVNA SPA37/KE12/13/